



申9号 2023年度 賃金引き上げ等に

関する申し入れ 第2回団体交渉④

私たちの本音の
声を受け止めて！

要求満額回答を
強く求める！

生活
実態

【食費、燃料費、光熱費の高騰】 ■ほとんどの食品が値上げ。食べる量を減らしている ■とても
外食できる余裕はない。 ■昼食にかかる費用が増加。1,000円超が当たり前に ■節約してストーブを使用
しないようにしているが、子供もいるのでガマンするにもできない。灯油が買えない ■ガソリン代も
急激に値上がり。車がないと生活できないので困る ■衣食住がほとんど値上がりしているため、日々切り詰めた生活
をしている。ストーブの使用を控え、子供には毛布を羽織らせている ■電気代は、使用量を減らしたものの前年
比で月 16,000円上昇 ■節電を心掛けてエアコンを使っていないのに電気代が今年の 1.5 倍 **【ローン返済・子供の**
養育費】 ■光熱費と住宅ローンで手取りが無くなる ■住宅ローンを抱える子育て世代は、将来に関してお金の面
では何も考えられない ■子どもが中学進学。学校指定品の購入や毎月の引き落としなど支出が増えている ■食費な
どの値上がりによって、家計への負担が増えたことから子どもの習い事も削った。子供に好きなこともさせてやれ
ない ■子供が通うスイミングスクールの月謝が突然 2,000円も上がった ■子供の塾費が突然 20%も値上がり。辞め
させるわけにはいかないから他の費用を削った ■何一つ変わらぬ生活をしているだけで、出費の増大に嘆く日々。
もう削る部分がない ■食費や燃料費、娯楽など、大人はガマンできるが、現在は子供にまでガマンさせる状況。会
社は、事あるごとに社員、家族の幸福と言うが、生きるギリギリのラインの賃金で「会社に従い、やりがいを見つ
け、会社を好きになることが幸福だよ」と言っているように感じる **【社宅等の住環境】** ■社宅制限が迫り家を購
入したが、ローン返済もあり厳しい状況 ■現在、社宅に住んでいるが退去時期が迫っている。年収減のため決断で
きない上、物価、電気代が上がり、先が見えず家を購入できない **【その他】** ■会社は BUY JR 運動を勧めるが、買う余裕がない ■物
価上昇で節約しても追いつかない。安定した会社に入社したのに、生活が安定せず不安しかない ■会社は、働きがいを押し付けるが、
日々の生活が大切なのに、これでは生きがいも感じられない

会社：社員に安心して働いていただくよう努め
ていかないといけない。生活実態は社員
一人ひとり違うが、話を頂いたことは受け
止める。

労働
実態
各
部
会
か
ら

【営業】業務の効率化で要員が削減され一人当たりの業務量は増加。経験のない若手社員が増えている中で、業務
に精通した人がいなくなり、見習いが軽視されミスやトラブルが増加。その対応で超勤となり悪循環が発生。企画
業務を行うことで精神的に余裕がなくなり退職や病欠に陥る社員も増加。JREMALL で売れ残った 150 年記念 Suica
の駅頭販売を明け番で昼過ぎまでやる現状。黒字を目指し Suica 取扱店の拡大、JRE ポイントの相談会など行った
積み重ねが黒字化になっている！

【運車】ワンマン運転で運転士の作業量増、起床後の 5 分の削減や準備時間見直しにより、ゆとりは減少。通勤ラ
ッシュは以前並みになってきて乗降扱いに時間がかかる。急病人対応やホームドア対応も増加。業務の融合で、駅
業務も行い、委員会などにもチャレンジ。現場では要員不足で休日出勤常態化。行路分割などが頻発し負担が増。
コロナ禍でも安全安定輸送の確保を大前提に運休を出さず列車の運行確保をしてきた！

【車両】修繕や機器更新費用が赤字を理由に抑えられている中でも創意工夫をし、コストダウンに努め、安全で質
の高い車両提供に努めてきた。また車両センターの見学や撮影会もシステムを超えて企画、運営してきた！

【工務】今年の冬は通常業務に加え、雪害対応。その他にも様々な障害対応では早期復旧に取り組み、安全・安定
輸送の確保に貢献してきた。変革 2027 実現に向けて、新システム導入・改修など新たな仕事の流れ・仕組みに取り
組んできた。システムを活用しつつ、足りない部分は、人の力で補完をしなければいけないのが実情。現場業務
が変化し業務量は増えているが、要員は増えることなく、労働密度は高まっている！

【事務】新ジンジャー対応稼働延期などで苦労してきた。さらに事務社員の減少で一人にかかる負担が増えている
中でも安心して業務に取り組めるように努力をしている！

【きかく】非現業部門や企画業務には手当がない。賃上げしか生活の維持向上に資するものはない。働き方改革や組
織再編、新しい働き方に随時対応し大きな成果を上げてきた。一人で複数の業務に携わりながら、引継ぎや OJT
なども行い安全安定輸送を継続してきた。育児、介護に対する将来への不安、制度改正やシステムチェンジなど変化
点に対する緊張、コストダウンと成果を両立させるための苦労などの声が寄せられている！

【かんり】社員一人ひとりに誠実に向き合い、多様化する考えの社員に想いを寄せ、業務に邁進
してきた。さらに現場への権限移譲などで、業務が多様化している。この労苦に応えるべきだ！

【医療】社員の健康管理と同時に地域医療に貢献。現在は高齢化により地域包括ケアが取り入れ
られ、80~90 代の入院患者が多くなり、転倒や誤飲防止にも努めなければいけない。終息しな
いコロナ対応に追われながらも地域医療に貢献している医療職員の努力に報いるべきだ！

会社：一人ひ
とりの尽力
があって収
入確保でき
ている。